



# 3年学年だより

発行日：令和2年9月30日（水）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：三浦 昌彦

NO. 4

## 創立記念日に想う

校長代理 白田 淳子

みなさん、南高祭お疲れさまでした。あまりの暑さのため、体育祭は延期となりましたが、充実した3日間を過ごすことができました。私は中学のすべてのクラスと中学生が関わっている部活動の展示や発表を見ることができました。どのクラスも短い準備期間でクオリティーの高い展示物を創り上げていて、さすが附属中生だなあと感心しました。特に当日は、案内役の生徒がクイズのヒントを出したり、ミニゲームをリードしたりと、“展示物”だけでなく、より効果的な展示発表のために工夫を凝らしていました。とても楽しませてもらいました。

保護者の方や本校を目指す小学生に見てもらえなかったことは残念ですが、このような社会状況でも南高祭が開催できたということはとても幸せです。様々な制限のある中で自分たちの力で楽しみを創り出せる、南高生・附中生の底力が垣間見えた行事でした。

さて、話は変わりますが、10月1日は何の日でしょうか。横浜市立南高等学校附属中学校は平成23年10月1日に創立されました。よって10月1日は本校の創立記念日です。今回の学年だよりでは、本校の開校の歴史に触れたいと思います。

平成21年11月 横浜市教育委員会が「横浜市立中高一貫教育校の設置に関する基本方針」を発表

平成22年5月 横浜市教育委員会が「横浜市立中高一貫教育校基本計画」を策定

平成23年4月 開設準備室が南高等学校内に設置され準備を開始

平成23年5月 「横浜市立学校条例」の一部が改正され、本校の開校が正式に決定

平成23年10月1日 本校が開校

平成24年4月1日 1期生が入学 開校宣言（下の枠内）

そして今年度、本校は開校して9年目になりました。市立中高一貫教育校という新しい形態で6年間の安定した環境の中で、横浜はもとより国際社会で活躍する志の高いリーダーとなる人材の育成を目指すという想いが込められて開校した学校です。歴史ある南高校から見れば、たった9年かもしれませんが、たくさんの人の期待と努力でできた学校です。式典や紅白饅頭はありませんが、創立記念日の機会に、そのような学校で学んでいることの誇りと喜びを感じてほしいと思います。実際に開校準備に関わった先生がまだ本校にいらっしゃるので、お話を聞いてみるのもいいかもしれません。

日々の活動の中で、心と体、学力と人間性を成長させて、横浜から世界へ羽ばたいてください。

開校宣言  
平成二十四年四月一日をもって  
横浜市立南高等学校附属中  
学校を開設します  
横浜市立南高等学校との一貫  
教育により、高い学力と豊かな人  
間性をはぐくみ、高い志と幅広い  
視野をもって世界で活躍できる  
人間を育成する中学校として  
発展することを期待し、ここに  
開校を宣言します。  
平成二十四年四月一日  
横浜市教育委員会

\*実物が校長代理室にあります。見に来てください。

# 南高祭をふりかえって

9月5日（土）と6日（日）に南高祭が行われました。今年は来校者や保護者の方に観ていただくことのできない例年とは異なる南高祭でした。舞台の部では風の章のみを行いました。ソーシャルディスタンスを保つためクラス単位でのビデオ鑑賞となりました。7期生のみなさんは「来年高校生になったら…」と今までとは少し違う気持ちで観ていたのではないのでしょうか。展示の部では、「世界を幸せにする第一歩～コロナ禍の中で～」をテーマに各クラスがアイデアを出し合い、テーマに沿うような展示を考えました。2日前から本格的な準備が始まったにもかかわらず、各クラス一致団結し素敵なものを仕上げることができました。当日はどのクラスも大盛況で多くの人に楽しんでもらえましたね。

最後に中学最高学年として南高祭を引っ張ってくれた実行委員さんを紹介します。みなさん、お疲れ様でした。

1組	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
2組	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
3組	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■
4組	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■

以下は各クラスの展示名と振り返りです。南高祭を通して様々なことを感じ取ることができましたね。



## 1組 『あつまれ！どうぶつの林』

今年はコロナの関係もあり、保護者の方や他校からの人は呼べなかった。でも、みんなが協力してクラス展示を完成させようとしていてすごいなと思った。去年と一昨年は、学校内の人だけではなかったのに、恥ずかしい展示はできないと思って頑張った。でも今年はそれがなく、ゆるゆるになってしまうのかなと思ったが、展示委員中心にみんなが各々でできることを探して頑張っていて、いいクラスだなと思った。どんな時でも全力で頑張ることは、他人のモチベーションにもつながるんだなと思った。（■■■■）

## 2組 『そうだ、総理大臣になろう』

私は、今回の南高祭を通して、改めて新型コロナウイルスは怖いものなんだなと思った。特に自分たちの展示を通して、正解がない対策方法が多くあり、その対策がプラスになるのかどうかは、自分たちがどれだけ気をつけられるかにかかっていることを感じた。マスクをつける、消毒をする、ソーシャルディスタンスを保つなどのことを守ったうえで行うことができた南高祭なので、小さな対策の大変さや重要性を改めて感じた。普段の生活でもしっかりと守り、来年は今まで通りの南高祭ができるようにしたいと思った。（■■■■）



### 3組 『Alice in TakanyLand』

今年の南高祭を通してクラスってすごいなと思った。準備を始めた頃は、本番までに間に合う気がなくて大丈夫かなと不安だった。でも3組は準備期間内に完成させることができ、とても嬉しかった。40人の力が合わさるとここまでできるんだなと感心した。展示が完成するまでは誰一人さぼったり遊んで騒いだりせず、自分が任された仕事を黙々とこなしていて、意外と真面目なんだなと思った。みんなで協力できた証だと思う。残り半年、体育祭や卒業式など、クラスの協調性を発揮して良い思い出をつかっていきたいと思う。( )



### 4組 『PLAY WORLD』

今年の南高祭はコロナウイルスの影響でお客さんが来られなかったり、舞台の部がなかったり色々大変だったけれど3年間で一番楽しかったです。準備の段階からみんな積極的に意見を出したり、飾りの相談をして楽しみながら準備できました。途中、なかなか意見がまとまらなかったり、本番に間に合いそうになかったりしたけど、みんなで協力して良い展示ができました。自分がシフトの時、「このクラス居心地良い〜」とか「ずっとこのクラスいれる」という声を結構聞いて本当に嬉しかったです。クラスの1/4の装飾を9人でするのも大変だったので、文化祭後の外の世界のお店とかショッピングモールとか見ると本当に作った人すごいなあーと改めて感じて、今までとはまた違った視点で見ることができました。自分達の生活は色々な人の支えがあって成り立っていることを実感しました。( )

#### 【姫のひとりごと】

先日の学年集会(9/26)では、久々に学年レクが行われました。学級委員さんたちの企画・運営力も素晴らしかったし、何より学年の皆さんが盛り上げよう、楽しもうとしているのが印象的でした。

何気ない日々の大切さが、ことあるごとに感じられる今年の秋です。

#### 事務より

##### ①学校配当予算報告

#### 令和元年度 予算決算報告書

単位：円

費目	配当額	決算額	残額	備考(具体例)
学校運営振興費	13,120,400	13,070,848	49,552	備品、消耗品等

※残額は横浜市へ戻入されています。

#### 令和2年度 予算執行計画書

単位：円

費目	配当額	執行予定額	残額	備考(具体例)
学校運営振興費	13,888,400	13,888,400	0	備品、消耗品等

※詳しい費目等はホームページでご覧になれます。

##### ②就学援助について

・2月下旬まで随時受付しています。コロナによる家計が急変した世帯への特別審査も行っています。